



市民サービス を見直す前に 役所の意識を まずは変えよう



特集 9月議会・前半戦
ハイライト

京都市のもったいないシリーズ①
広報用キャラクター作成費250万円

すがや浩平
京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

.....
.....
.....
.....

☐ 日本維新の会への入党を希望する。 ☐ 選挙(立候補)に興味がある。 ☐ ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	Fax 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党くださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



▲ポスター(A2サイズ)

毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。
[日時] 毎月第2土曜日夕方5時～6時 [場所] 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力をお願い (ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm)
ご自宅などの外壁・窓ガラス・フェンスなど、ポスターの掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられております。

01 京都市9月議会・本会議

**2年2か月ぶりに市役所本庁舎で本会議を開催！
総額約100億円の補正予算案が全会一致で可決**

京都市9月議会が9月22日に開会し、2019年7月22日以来2年2か月ぶりに、耐震改修工事を終えた市役所本庁舎内の議場で本会議を開いた。会期は10月27日までの36日間の予定。先月号でもお伝えしたとおり、学童クラブ利用料や敬老乗車証の条例改正案が市から提出されたほか、新型コロナウイルス対策費などを盛り込んだ総額100億8千3百万円の2021年度一般会計補正予算案など計47議案が市議会に提出された。

補正予算案の主な内訳は以下の通り。▽新型コロナウイルス接種体制の増強経費 35億3千7百万円 ▽保健所体制の強化 7億2千9百万円 ▽京都市立病院の

コロナ患者受入体制の確保 4億2千5百万円 ▽休日診療やPCR検査をおこなう医療機関への支援金交付 1億6千9百万円 ▽教員のGIGAスクール用端末の購入など 16億9千8百万円 市議会は9月24日に予算特別委員会を開いて補正予算案を審議したのち、9月29日の本会議にて補正予算案を全会一致で可決・成立させた。



▲改修を終えた市役所本庁舎内の議場に戻ってきた京都市議会

02 9月24日 予算特別委員会

市教委の見通し甘く、僅か半年で端末を買い替え果たして児童生徒用に予備機が1万台超も必要か

9月24日の予算特別委員会では、教員のGIGA(ギガ)スクール用端末の購入について、市教育委員会に対し質疑をおこなった。市教育委員会は昨年度、国からの交付金を活用し、教員と児童生徒にそれぞれ1人1台ずつのデジタル端末を購入し、今年4月から本格活用ができるように整備を進めてきた。

しかし、ビデオ会議機能を用いてオンラインにより授業を配信する際などに、映像や音声の乱れが生じたり、教員の端末に児童生徒の姿が同時に表示されなかったりといった問題が生じていた。

そこで市教育委員会は、またも国からの交付金を活用し、僅か半年後に1台15万円程度の高性能

な端末を教員用に8000台購入する予算案を計上した。使わなくなった端末約7000台は児童生徒用の予備機に回されるが、予備機は既に昨年度4500台購入しており、予備機の合計は1万台を超えてしまう。自分たちの見通しの甘さは認めようとせず、児童生徒への予備機という形で帳尻を合わせようとする市教育委員会の姿勢には違和感を覚える。



▲教員のGIGAスクール用端末の購入について質疑をおこなう

京都市のもったいないシリーズ① 広報用キャラクター作成費250万円

**市のキャラクター約140体にまた新たな仲間が
市広報課「目的に応じた使い方がそれぞれある」**



▲市が250万円かけ作成したキャラクターの「京乃つかさ」

財政難に陥っている京都市だが、市の広報用キャラクターのイラストをデザイン会社に依頼し、250万円かけて新たに作成していたことが9月に判明した。

新しいキャラクターの名称は、「京乃(きょうの)つかさ」。20歳の大学生で、身長163センチ。血液型はO型。趣味はカメラ・アニメ・特撮・ゆるキャラだ。

今年5月1日号の市民しんぶん「デビューして以降、毎月登場

している。

市では既に約140体ものキャラクターを所有しているが、市広報課は「既存のキャラには目的に応じた使い方がそれぞれある」とし、新しいキャラクターの必要性があったと主張している。

250万円かかったイラスト代は、2020年度の市民しんぶんの制作費の約1億1千万円から既に支出されている。未掲載のものも含めると、イラストは全部で17カット。市広報課は「250万円と聞くと高額に思いかもしれないが、1カット当たりでは14万7千円。使い回しも効き、長く使うことを考えると初期投資は十分回収できる」とのことだが、市民感覚からはかなりかけ離れているのではないか。

京都市議会議員・北区 菅谷 浩平(35)

すがやこうへい



所属政党／日本維新の会
党の役職／京都府総支部幹事長
地域活動／消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

京都には昔から「しまつのこころ」という言葉がある。漢字では「始末の心」と書き、始めと終わりを意味する。

主に関西地方で古くから唱えられ、商家の家訓にも登場してきた言葉だ。つまり「始末の心」とは、物事の辻褄や帳尻が合っていること、そろばん勘定ができていところから転じて、物を大切に、無駄にしない、節約や倹約をするといった意味で使われている。京都市にも2015年に施行された「しまつのこころ条例」という条例があるが、これは市内のごみ量の半減をめざすためのものだ。とは言え、ごみだけでなく、市には「始末の心」で税金の無駄遣いをしないように心がけてもらいたい。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com



@sugayakohei



facebook.com/sugayakohei



@sugayakohei